

平成26年度行政視察報告①

市議会の各委員会では、所管事項について先進的な取組みを行っている自治体に出向き、調査・研究する行政視察を行っています。

今回は環境福祉委員会、総務文教委員会の行政視察について報告します。

環境福祉委員会

日程：平成26年10月6日～8日

【埼玉県寄居町】

「埼玉県環境整備センター」及び「彩の国資源循環工場」について視察しました。

ここは廃棄物の処分地を自ら確保することが困難な県内の市町村等のための広域的な最終処分場と公共関与による全国に先駆けた総合的資源循環型モデル施設を備えており、概要説明等を受けた後、処分場及び工場を見学しました。



埼玉県環境整備センター

【東京都多摩市】

「子育て支援の取組み」について視察しました。

NPO法人と連携して行っている「リフレッシュ一時保育事業」等、多摩市独自の施策を中心とした事業の概要、加えて新年度より移行する「子ども・子育て支援新制度」の対応等の説明を受けました。

（感想）

最終処分場について埼玉県では、「地元による監視活動」等により、住民との調整を行いました。その調整にかなり苦慮した経緯がありました。本市でも早期の供用開始を目指し、より迅速な対応をしていかなければならないと強く感じました。

多摩市では、「子ども家庭サポート派遣事業」等、都心に近い自治体らしい、先進的な取組みがたくさんありました。そして「子ども・子育て支援新制度」の対応にもいち早く取り組んでいました。加えてNPO法人との関わり等において大いに参考になりました。

【参加議員】

仁科文秀 三谷 渡
馬越裕正 大月隆司
奥野泰久 蔵本隆文
森岡聰子

総務文教委員会

日程：平成26年10月7日～9日

【北海道釧路市】

「釧路市の子どもたちに基礎学力の習得を保障するための教育の推進に関する条例」について視察しました。

平成23年に超党派の有志議員で結成された釧路市議会基礎学力研究議員連盟が、

大学教授、教員等から意見を聞く勉強会を開くなどの活動を行いました。そして平成24年に発議し、可決されたこの条例は、執行部、議会、地域等の責務と役割を明らかにし、各主体が連携して取り組む事柄を努力規定として定めています。

全小学校の全学年で、年間45時間（英語に35時間、中国語に10時間）の授業時間を、学習指導要領に定められた各教科等の目標等との関連を洗い出し、外国語活動、総合的な学習の時間等から捻出し、白糠町らしさにあふれる教育課程を編成しています。

（感想）

白糠町では、外国語の習得を一番の目的とするのではなく、「ふるさと教育」の一環として他国の言語や文化に触れ、ふるさとを知ることができることを重視されているように感じました。教育委員会指導室長の熱のこもった説得力ある説明に、教育改革にかける熱い思いを感じました。

【参加議員】

藤井義明 竹原 泉
天野喜一郎 大本益之
金藤照明 樋之津倫子
山本俊明



釧路市

【北海道白糠町】

「ふるさと教育」について視察しました。

ここでは平成9年度に開始した「ふるさと教育」の発展のため「ECタイム」に取り組んでいます。「EC」とは、「イングリッシュ・チャイニーズ」、または「エンジョイ・コミュニケーション」の願いを込めたネーミングであり、町内